

企画展

昭和



1926 — 1989



年

モノ語り

2026年1月10日(土)~3月8日(日)

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／毎週月曜日(ただし、1月12日、2月23日は開館)、
1月13日(火)、2月12日(木)、2月24日(火)

一宮市博物館
ICHINOMIYA CITY MUSEUM

協力：北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」



昭和は1926年に始まり、1989年に終った元号で、およそ60年にわたる長い時代でした。もし昭和が今も続いていたとすれば、2025年は「昭和100年」にあたります。また、西暦で考えると、1926年から100年となる2026年が大きな節目となります。

昭和は、戦争と敗戦、そしてそこから復興を経験し、高度経済成長へと歩みを進めた激動の時代でした。社会のしくみや人々の暮らしは大きく変わり、私たちの生活文化の基盤が形づくられていきました。

本展では、昭和の出来事や当時使われていた生活道具を通して、人々の暮らしの移り変わりを紹介します。

1926 1933 1939 1945 1946 1951 1953 1959 1963 1964 1966

体験講座 ガリ版印刷を体験しよう

〔日 時〕2月1日(日)・2月11日(水・祝)各日ともに①午前10時～午前11時 ②午後1時30分～午後2時30分

〔定 員〕各回6名(抽選)

〔対 象〕小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

〔内 容〕手刷りの印刷技法でオリジナルカードを作る

〔持ち物〕エプロン、汚れてもいい服装

〔参加費〕700円(観覧料は含まない)

〔申込締切〕【電子申請・博物館受付】12月25日(木)午前9時から1月22日(木)午後5時まで

ガリ版申込フォーム



体験講座 紙の着物で学ぶ 昔と今の服

〔日 時〕3月1日(日)①午前10時～午前11時30分 ②午後1時～午後2時30分

〔定 員〕各回10名(抽選)

〔対 象〕小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

〔内 容〕紙を使って着物を仕立てながら、着物の仕組みや洋服との違いを学ぶ

〔参加費〕500円(観覧料は含まない)

〔申込締切〕【電子申請・博物館受付】1月23日(金)午前9時から2月20日(金)午後5時まで

着物申込フォーム



申込方法

各講座申込締切日までに下記のいずれかの方法でお申し込みください。

1. 上記申込フォーム、または博物館WEBサイトから申込
2. 来館での申込

学芸員による展示解説

〔日 時〕2月8日(日)・2月22日(日)

各日午後2時から30分程度

〔定 員〕なし(どなたでも)

〔参加費〕無料(ただし、観覧料が必要)

〔申込〕不要

博物館講座 尾張平野を語る29郷土の資料を読み解く

第3回「うつろうくらしの“モノ”語り～昭和日常博物館の昭和生活資料コレクションの構築と活用～」

〔日 時〕1月18日(日)午後2時～午後3時30分(午後1時30分開場)

〔講 師〕伊藤 明良氏(北名古屋市歴史民俗資料館「昭和日常博物館」館長)

〔場 所〕博物館1階講座室

〔定 員〕60名(当日午後0時30分より、受付にて整理券配布)

〔参加費〕600円(高大生300円)※観覧料含む、有効期限内の常設展示年間観覧券を持参で無料

1970 1972 1973 1979 1984 1985 1988 1989



TEL 0586-46-3215

一宮市大和町妙興寺2390番地

公式サイト



@ichinomiya_city_museum

@138citymuseum

ichinomiya.city.museum

@138museum



【観覧料(常設展を含む)】一般300円(240円)、高校・大学生150円(120円)、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金。

※一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。

※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(付添人1人を含む、ミライロID可)は無料。

・名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車、南口より徒歩約7分 ・JR東海道本線「尾張一宮」駅下車、タクシーで約10分 ・ニコニコふれあいバス「博物館西」下車、徒歩約5分